

初期消火訓練に臨む児童と 住民

＝千坂小



大地震を想定 5千人が避難

千坂校下町会連合会と千坂小の「第17回防災訓練」(本社後援)は21日、同校下で行われ、23町会の約5300人が、自宅から一時避難場所に集合し、万一の事態に備えた。大地震発生を想定し

千坂校下で防災訓練

た。同校には1470人が避難し、初期消火や応急処置、煙中避難の各訓練に参加し、段ボールで体育館に避難所を開設する手順も確認した。防災士の講座も開かれた。訓練には今回初めて同小の全校児童も参加し、はしご車試乗や初期消火訓練などを住民とともに行った。